

第8回 ちむぐるプラン住民会議

平成30年9月6日(木)

【テーマ：子どもの孤立と居場所づくりについて】

1. あいさつ・・・・・・・・・・こども課 前城課長
2. 概要説明・・・・・・・・・・こども課 前城課長
3. 子ども元気ROOMについて・・・・松田さん
4. 放課後ルームについて・・・・新垣さん

【主な感想と意見】

- ①幼児期、学童期で体験した事、生活する上で当たり前のことというのは、その後の生活、自立につながっていく大切な経験で、それが欠如している子を(親も同様の事が多い)すくひ上げてサポートする形を作り上げて、続けていく事が大事だと感じています。
- ②私自身、貧困、障害、弱い立場、差別される側などにいる方のことを考えることが生き方の原点にあります。なのでよけいにお二人の活動に感動し、私もやりたいなと思います。新垣奈々さんの「居場所づくりで大切にしていること」にも、とても感動しました。
- ③地域の“お母さん”が子どもたちのために一念発起して子ども支援の取り組みを展開していることに感動しました。様々な家庭環境にある子どもたちを地域でサポートし、家庭や学校以外の居場所づくりに尽力されていることに深く感謝しています。小学校教諭の私も、この取り組みを学校で共有し学校でやるべきこと、もっとできることをみんな考えて実践していきたいと思います。ありがとうございました。
- ④新垣奈々さんの、地域が「ふるさと、心のよりどころ」で、子どもが元気に育つのを手助けしたいという思いがとても伝わりました。「子どもだけに限定せず地域全体のつながりの場をつくる」というのも、ガチガチな感じでなく誰でも受け入れてくれて大らかな感じがしました。松田かなえさんは、自分のことのように子どもたちを大切に、すごい取り組みをされているんだなあと思いました。涙が出るほど感動しました。
- ⑤当たり前のことを経験できないまま過ごしてきた子どもたちがいることを地域の人に理解してもらうにはどうしたらいいのか。子どもたちと地域の大人が気軽に集まれる場の大切さを改めて感じました。地域(地元)を好きな人を探してみようと思いました。
- ⑥今日のお二人の発表も素晴らしかったです。それぞれの活動に対して子どもたちへの愛情を感じました。継続するための原動力がお二人とも同じだったこともうなづけました。関わった人々の変容を見過ごさずにキャッチして必要な人たちにキチンと伝えることの大切さも学びました。自ら行動し気づきを得た事を次の行動につなげることで人々を巻き込むこともできることが解りました。パワーを感じ元気づけられる発表でした。ありがとうございました。
- ⑦イメージを形作る。ビジョンが大事。見ようとしなければ見えない。などたくさんハッとさせられる言葉があり身が引きしまりました。ありがとうございました。
- ⑧地域の人たち、保護者、青年会、老人会などの方々と交えての活動は素晴らしい事だと思いました。新垣さんの声かけから始まり、現在の形になった事は凄いな、すごく努

力したんだろうと感じました。元気ROOMカナカナのスタッフですが、私たちも、他の子どもたち、また地域の方々ともっと関わり、何か一つの事をみんなでできたら、子どもたちの自信などになるだろうなと思いました。もっと自信を持たせて社会とのつながりを持ちたいと思いました。

⑨児童館には日々多くの子どもたちが来館するが、一人ひとりの名前を呼んで声をかけ続けたい。所属している場所の一つであり続けたい。私が勤務する前、毎年、職員が変わり続けていたため「いついなくなるの？」があいさつがわりだった。児童館に2カ年半居れたことで子どもたちが安心できる場になれている気がする。今日、一年ぶりに顔を見せた子がいる。「1年間留学していた」との事。居続けることで出迎えてあげられることを実感した。一人でも多くの子や保護者が集まれる場所を作りたいと思った。元気ROOMに通っていた子も来館する。支援を受けられていた事に感謝と安心を覚える。

